

# 進路ニュース みらい 27号

広島市立広島養護学校 進路指導部 広報係

## 高等部2年 ～ 職場体験実習経過報告～

「いらっしゃいませ～」「ありがとうございます  
ました」最初はなかなか声が出でこない。3日目、  
4日目になってくるとだんだんと声も大きくなっ  
てくる。生徒にとっては、初めての経験ではない  
でしょうか。

高等部2年生では、「社会へチャレンジ」をテ  
ーマに9月4日から職場体験実習が始まりました。  
生徒は、それぞれ事業所・施設・作業所・デ  
イサービス等で実習をしています。2年生の体験  
実習は、1年次の校内実習でつけた力を学校から外へ出て試してみます。この具体的な  
体験を通して将来の進路や社会生活について考える機会となるよう、取り組みを進めていき  
ます。今回の体験実習も中盤に入りました。生徒にとっては、学校とは全く違う環境の中  
で、戸惑いながらも徐々に慣れていき、仕事に活動にと精一杯頑張っている姿を見せてく  
れています。引率の先生からは、「普段学校では見られないような態度でバリバリ仕事を  
やっていたよ。」「どうやったら速くなるか、自分で工夫しながらやっていたよ。」「自  
分の目標を意識しながら、頑張ろうとしている。」など、生徒の頑張っている様子を聞く  
ことができました。実習を終えた生徒の顔を見るとなにかしら一回り大人になったような  
印象も受けます。また、いろいろな課題もたくさん出てきました。これらの課題は、これ  
から3年生に向けて日々取り組んでいきたいと思えます。これから実習へいく生徒、実習  
まっただ中の生徒、クラスの仲間、学年みんなで応援しています。最後までがんばってや  
りきりましょう。



(高等部2年)



## 高等部1年「高2職場体験実習から学ぶ」

今回の進路学習は、現在2年生が体験している実習の様子から「仕事」について学び、学校との違いをさぐります。2年生の先輩の体験をインタビュー形式で聞き、働く姿をビデオ視聴することで、学校生活と卒業後の生活の違いを考えるきっかけとします。さらに、11月末の職場見学では実際に施設・作業所などを訪れて、雰囲気を感じとっていきたいと思っています。少しずつ「働く」ことや「仕事」について考えたり、体験したりすることで、自分を見つめ、将来を考える学習を積み重ねていきます。

(高等部1年)

## 高等部3年

### 「障害者自立支援法と高3進路の取り組み」

障害者自立支援法による自立支援システムは、自立支援給付と地域生活支援事業で構成されています。自立支援給付の介護給付は4月から施行されていましたが、いよいよ10月に入り、自立支援給付の中の訓練等給付と地域生活支援事業がスタートしました。地域生活支援事業は市町村が独自で実施するもので、「日常生活用具の給付」「移動支援事業」「地域活動支援センターと経過的デイサービス」「日中一時支援事業」「生活サポート事業」があります。特にこれまで支援費の中で利用の多かった日中ショートステイが「日中一時支援事業」、外出介護が「移動支援」として地域生活支援事業に組み込まれています。サービス内容は現行とほぼ変わらず、市民税課税世帯においては「日中一時支援事業」では4時間未満で160円、4時間以上で320円、「移動支援」では1時間あたり150円または280円(18年度上限月額3100円)の利用料の1割負担がかかります。デイサービスは10月より新体系に移行し(名称はそのまま?)、これまでのデイサービスの多くは「生活介護」という介護給付の中に位置付けられるようです。「生活介護」の中にこれまでの作業型と重介護型と呼ばれるグループがあって、これも現行と大きなサービス内容の変化はありませんが、「生活介護」利用のためには障害程度区分3以上が必要になってきます。注目される来年度の施設利用のための申請手続きの時期や手順については、今なお明確になっていないのが現状ですが、情報収集に努めておりますのでしばらくお待ちください。

このような状況の中でほとんどの生徒が高3になってから実習を行い、本人の実態や生活リズム、将来の生活について考えながら、進路先を決めたり、本人に合っているのか試したりしてきました。生徒たちは、2年生の職場体験実習や、高3になってからの学校生活を経て、より課題意識をもって実習に取り組んでいます。その成長が、卒業後の生活へつながっていくよう、支援を続けていきたいと思えます。

(高等部3年)

## アフターケアから・・・

平成17年度卒業生の卒業1年目のアフターケアの取り組みとして、5月に家庭連絡、6月に企業訪問を行い、また夏休みには進路先全てに旧担任が訪問し状況把握や進路先との連携に努めました。

学校生活とは環境が違う中で、本人や保護者の皆さんが戸惑いながらも、進路先や卒業後の生活に慣れていこうとがんばっておられる様子がうかがえました。

進路先の多くからは、「初めの時に比べ随分慣れてきて表情も明るくなった」「周りの仲間との人間関係もできてきています」「職場の戦力としてがんばってもらっています」などの声が聞かれましたが、中には、学校生活とは違う「働く」生活の中で戸惑っているケースもあり、今後も進路先や関係諸機関などと連携して取り組んでいきたいと思えます。

卒業時点で在宅となった卒業生の内の3名が8月までに施設やデイサービスへ通うことができるようになりました。日中活動のショートステイを利用していた施設が気に入りそこへ進路変更したり、待機待ちのデイサービスに空きが生じたりして利用が可能となりました。

しかし、いまだ在宅の人もいます。進路先に通いながら他の施設やデイサービスの空きを待っている人もいます。また、制度が変わり施設体系が大きく変わります。施設などがどう変わっていくのか、利用料などの負担はどうなっていくのかなど不安を抱えている保護者もおられます。

今後も、新たな制度について動向を注視していきながら、施設・作業所をはじめとする関係諸機関との連携を、より一層進めていきたいと思えます。

(アフターケア係)

## 『しんろコラム』NO.2

### 職場(体験)実習と進路(職場体験実習での関わりから)

私の担当している2年生は9月から職場体験実習が始まりました。最近の私は巡回指導が多かったのですが、今回は久振りに作業所で生徒と一緒に実習をしました。作業は段ボールの 状の糊代にハケで糊を付ける作業でした。一緒に行ったA君は最初、糊代全面に糊を付けていたので、はみ出していました。そこで私は、 状の糊代の内側に自分で小さめの をハケでかいて、その内側に塗りつけることをさせてみせました。手本を見せてやってみせると、私の形と同じくらいの大きさで書いてその中を塗りつぶすように糊を付けることができました。それからA君は糊代の形状を意識して、内側約2cmくらいに を描き、糊を付けていきました。時々形が崩れ、少しはみ出しそうになると自分で修正していました。修正した形が「OKか。」と私に尋ねてくることもありました。それほど厳密な基準があるわけではないのですが、A君なりに判断がつかなかったのではないかと思います。私が「OKだよ。」と返すと、A君は、また作業を続けていきました。それ以降は「だいたいこんな形で。」と自分の判断基準が出来上がったようです。1日の実習が終わると反省会をします。反省会では自分の実習ノートにその日の実習のことを振り返り、自分で評価を

付けます。作業の正確さや、やり方、作業の報告や連絡ができたかどうか等を自分で自己評価するのですが、自分の中で評価をする基準のポイントを持っていないと、「出来たから。(1日が無事終わったから)」になってしまいます。A君は最初の頃は「がまだ上手に描けないことや、糊のはみ出しをまだ「もう少し」と評価しました。

1年生の時のA君は自信の持てないことには消極的で、なかなか次のことに進めないところがありました。手伝いを頼んだり、新しいことに挑戦をさせようと思っても、尻込みをしたり、少し上手いかないと不安になることもありました。しかし、今回の実習では上手いかない所の修正や失敗しても挫けずにやり直すことができるようになっていました。また、自分のやったことの評価も糊付けが難しかったと言っていました。上手くいくかどうかの不安を乗り越えて、失敗も次に生かそうとする姿勢が出てきました。

そう言えば、お母さんから最近一人で大好きな電車を見に駅へ行くことが出来るようになったと言われていました。特にこの夏休みは、不安もあったが、本人を信じて失敗覚悟で挑戦を始めたそうです。そうすると今まで苦痛だった夏休みも楽しく感じたとも言われました。家の中でゲームを楽しむ活動が多かったA君に大きな変化が起き始めた夏休みだったようです。実習を終えて、お母さんから「実習は本当に良かった。働くということがどれだけ大変なことかわかったと思います。でも、作業所の仲間はホントに明るかったです。」と感想をいただきました。

高等部くらいになると知的な力を地域や生活の中で生かすことで、更に力を飛躍させる人もいます。高等部の職場(体験)実習は、卒業後の進路に結びつけるだけでなく、学校生活や家庭生活で培った力を実践する場にもなっています。実習に参加するにあたっては実習場所での作業の経験だけでなく、通う手段を考えたり、実習場所にふさわしい服装を選んだり、日頃の仕事や活動がしやすい自助具や実習先でのコミュニケーション手段(あいさつや返事も含めて)を実践することも学習の一つとなります。こういった積み重ねが進路選択や社会参加の場に繋がっていきけるような障害者自立支援法へと発展することも願って実習の在り方を考えていきたいと思っています。

(コーディネーター 草羽俊之)



## お知らせ

### 皆賀園祭

10月28日(土) 10:00~15:00

### 広島南授産所感謝祭

10月29日(日) 10:00~14:30

### 夢フェスティバル(夢トピア・もみじ作業所)

10月29日(日) 11:00開始

### 場所: 夢トピア

### 広島市心身障害者福祉センター文化祭

12月 3日(日)

(広報係)